

(ユナイト)

Unite・団結だより

by ながた

第 11 号

神原中・神原小・壺屋小
発行責任者 上地幸市

神原中小中一貫教育Gでは、9月29日に第3回小中合同授業研究会を神原小で行いました。

神原小は、この1年間、自らの思い、考えを表現し、共に高め合う児童の育成～「主体的・対話的で深い学びに向けた質的改善を通して」を校内研のテーマに掲げ、研究実践に取り組んでいます。

今回の小中合同授業研は、校内研で取り組んでいる授業づくりの成果と課題を国語科、音楽科、体育科の教科を通して明らかにすることをねらいとしています。

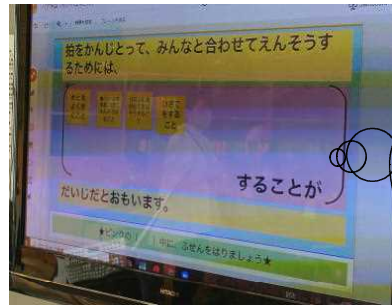
今号では、神原小学校の提案授業の様子を写真で紹介するとともに、講師の指導助言内容を一部掲載します。お読みください。

写真で見る授業の様子

3年音楽の授業風景



「拍」を感じ取り、良い演奏をするには、どうする？
子どもの考えを引き出す授業者



良い演奏をするためにペアで話し合った考えを電子黒板で共有。スゴいわ！



全員でリコーダー演奏をしている様子。
「背筋ピンでいい音出てるね！」



タブレットで振り返りを行い、発表している子ども。発表態度がいいわ！

指導助言骨子

- ◎ 「主体的な学び」について、子どもたちが自らの学習を振り返った時に、自身の学びや変容を自覚できる場の設定が大切。
- ◎ 「対話的な学び」について、対話しているかではなく、対話によって学んでいるかが大切。
- ◎ 「深い学び」について、獲得している知識をつなぎ、関連させ結びつけることや必要感を持って技能を習得しているかが大切。

2年国語の授業風景



板書計画に沿って授業が進められていて、イイね！



先生の説明を聞いている子どもたち。聞く姿勢良いね！



ペアで互いの考えを確認し合っていて、学ぶ力がgoo！

指導助言骨子

◎構造と内容の把握 ◎交流活動の充実 ◎「聞く力」の充実 ◎言語活動の充実 ◎全校交流における教師のファシリテーション ◎「関わり」の質を高める ◎グループ学習の必要性 ◎指導の個別化・学習の個性化 ◎学習評価などについて、指導の充実を図ることが大切。

6年体育の授業風景



先生の説明を聞く子どもたち、集中力がスゴイね！



チームの課題を解決する練習を考えているのかな？



バトンパスのダッシュマークを確認する子ども達。グット！

指導助言骨子

◎小中一貫合同授業研の積み重ねが確認できた分科会でした。また、授業者の教材研究力、実践力の高さが感じられた授業でした。次年度は、なお一層小中連携による体育授業が充実することを期待する。
◎なぜ体育を学ばせるのか（目的）、体育学習は何を学ばせる教科か（内容）、体育・スポーツをどのように学ばせるのか（方法）について学習指導と体育科経営の視点から実践研究を行うことが大切。

